

浴室リモコン

注意

- 取付けの前に必ずお読みください。
- リモコンの接続は、必ず配線用遮断器及び機器の漏電遮断器を「切」(OFF)にしてから行ってください。感電や故障の原因となります。
- 他の機器の電源コードやリモコンコードと一緒に束ねて配線しないでください。また、渡り配線はしないでください。リモコンや機器の誤動作の原因となります。
- 必ず台所リモコンとセットでご使用ください。
- リモコンコードは20m以内で使用してください。



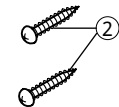
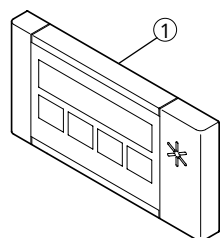
必ず実行

別売品のリモコンコードを準備してください。

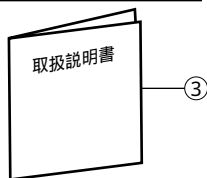
- ガス給湯機用：RHA5001-3(3m)・5(5m)・8(8m)・10(10m)・15(15m)・20(20m)
その他の機器用：RHA1358-3(3m)・5(5m)・8(8m)・10(10m)・15(15m)・20(20m)を用意しています。
- UB壁埋込用として使用する場合は、別売品のリモコンカバーを準備してください。
- 屋外配線の場合は、別売品の浴室リモコン用屋外カバーセット(RHA1360N・1361N)を準備してください。

梱包内には下記の部品が入っていますので、部品と数量を確認してください。

番号	名称	数量
①	浴室リモコン(カバー付)	1
②	木ねじ(3.8×32)	2
③	取扱説明書 (お客様用・リモコン操作編)	1

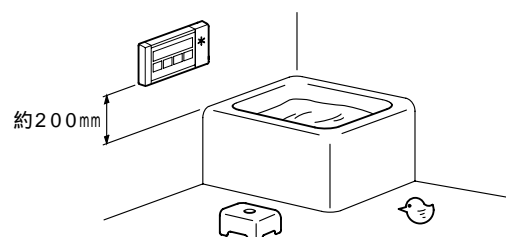


必ずお客様にお渡しください。



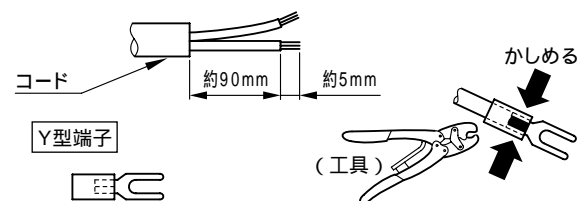
リモコンの操作が容易に行えるところに取付けてください。

- 浴槽の縁から約200mm上の位置に取付けてください。高すぎると表示が見えにくい場合があります。直射日光の当たる場所や白熱灯の近く(目安50cm)にリモコンを設置しないでください。変色や表示にムラが生じたり、動作不良の原因となります。リモコンの電源投入時やリモコンが点灯準備中には、表示画面に『お待ちください』と表示します。この間はリモコンの操作ができません。リモコンから指をはなしてお待ちください。

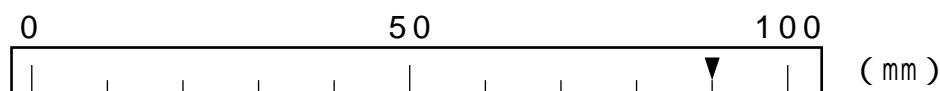


リモコンコードの端子接続方法

- 別売品のリモコンコードを切って使用する場合は、必ずY型端子側(給湯機に接続する側)を切って、リモコンコードの被覆を約90mmむいてから、M3ネジ用のY型端子をかしめてください。
- 注 かしめ後、コードをかるく引張って抜けないか確認してください。

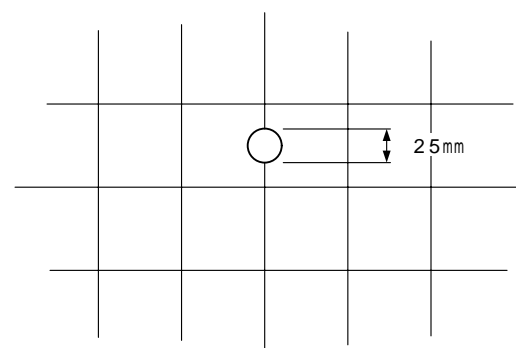


注 かしめは、絶縁スリーブ付端子用の専用圧縮ペンチをご使用ください。その他の工具を使うと接続不良の原因となります。

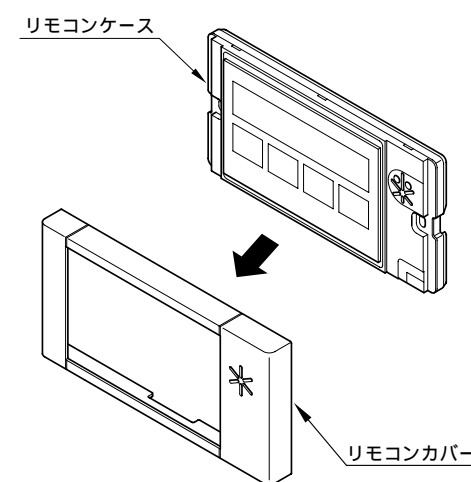


取付手順

- ① 浴室リモコンを取付ける位置に 25mmの穴を壁と直角にあけます。

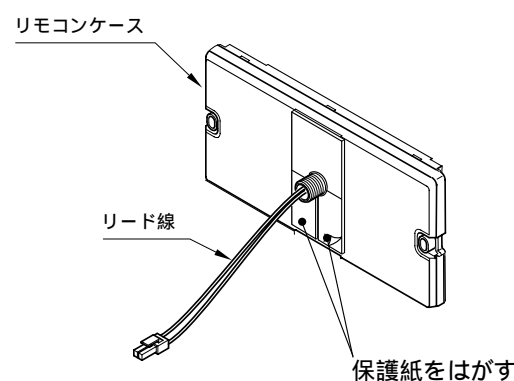


- ② リモコンカバーを取外す。



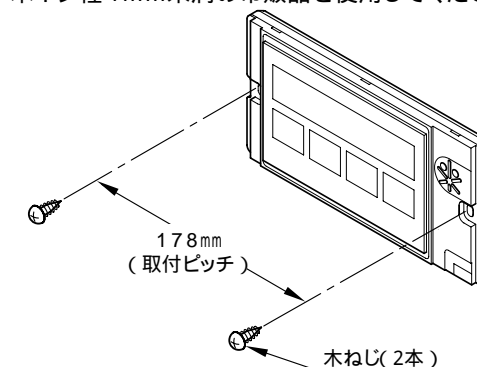
- ③ ケース裏面の保護紙をはがし、取付壁に密着させます。

注 密着させるときに注意して位置をきめてください。一度貼り付くと、ずらすのが大変です。



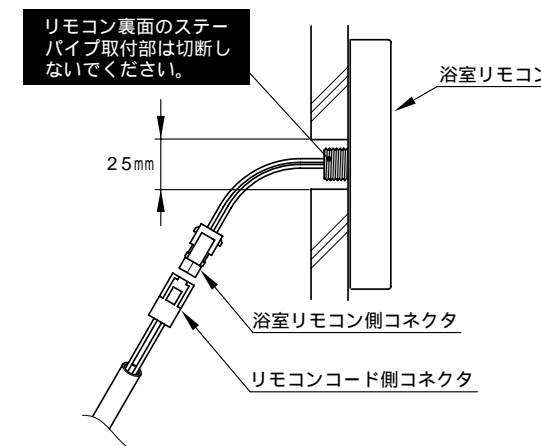
- ④ 付属の木ねじ2本で浴室リモコンを壁に固定します。

壁面の材質によりオールプラグを使用する場合は木ネジ径4mm未満の市販品を使用してください。



- ⑤ 浴室リモコン側コネクタと別売品のリモコンコード側コネクタを接続します。

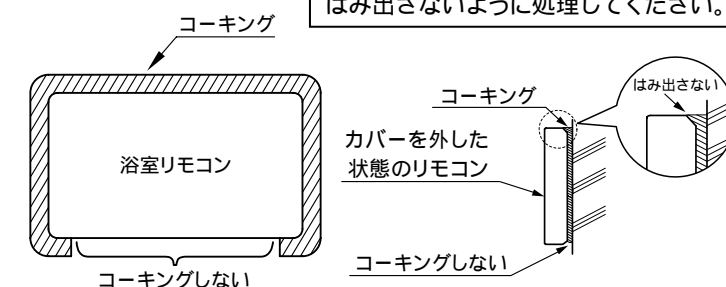
注 抜けないようにしっかり差込んでください。



注 ステーパーパイプ取付部を切断すると、リモコン内部に水が浸入し故障の原因となります。

- ⑥ 浴室リモコンの上側及び両横側の壁接触部をコーキングし、下側はコーキングしないでください。

またリモコンの全周はコーキング材がはみ出さないように処理してください。



注 コーキングが不備の場合は、リモコン内に水が浸入し故障の原因となります。また、コーキング材がはみ出ると、リモコンカバーの取付けや取外しができなくなります。

- ⑦ リモコンカバーを取付ける。


試運転(石油給湯機・ガス給湯機の場合)

RAC600シリーズリモコンの湯はり運転の試運転操作方法を記載します。
 ガス未開栓のときや灯油のないときでも行えます。
 試運転開始までの準備や手順については機器本体側の施工説明書に従ってください。


【手順】

① 浴槽を空にし、浴槽の排水栓を閉じる。

《浴室リモコンで以下の操作を行う。》

② 運転(給湯)スイッチを「入」にする。


③ ふろ温度、ふろ水位(湯量)を設定する。

④ 運転(給湯)スイッチを「切」にする。


⑤ 各種設定スイッチを1秒以上押し続ける。
 画面が切り替わります。

⑥ 使い方ガイドスイッチを10秒以上押し続ける。
 画面が切り替わります。

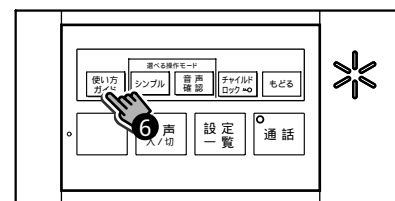
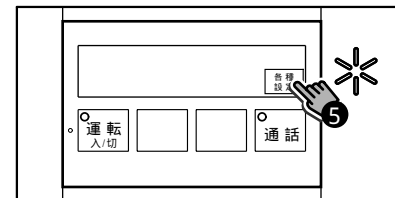
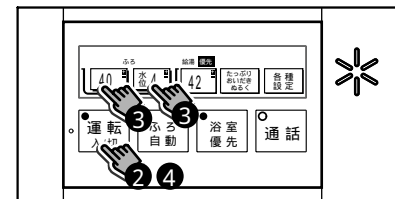
⑦ 石油給湯機の場合のみ、次の操作を行います。
 ガス給湯機の場合は⑧に進んでください。
 「▲」「▼」スイッチで『灯油あり』『灯油なし』を選択する。

⑧ 決定スイッチを押す。

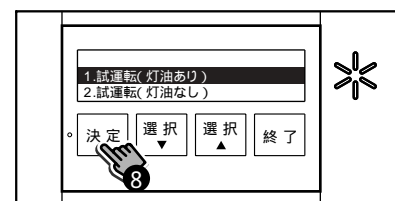
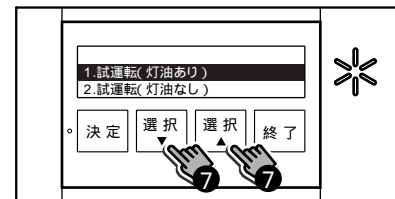
試運転を開始し、試運転が完了するとメロディ音が流れます。

試運転中に異常が発生した場合や試運転完了後の処置については、
 機器本体の工事・施工説明書に従ってください。

例)RAC604F*の場合



[石油給湯機の場合のみ]



試運転(電気温水器の場合)

RAC600シリーズリモコンの湯はり運転の試運転操作方法を記載します。
 タンク内のお湯の温度に関係なく行えます。
 試運転開始までの準備や手順については機器本体側の施工説明書に従ってください。

【手順】

① 浴槽を空にし、浴槽の排水栓を閉じる。

《浴室リモコンで以下の操作を行う。》

② 温水器がおふろの運転動作をしていないか確認する。
 動作している場合は、スイッチを「切」にする。

③ ふろ温度、ふろ水位(湯量)を設定する。

④ 各種設定スイッチを1秒以上押し続ける。
 画面が切り替わります。

⑤ 使い方ガイドスイッチを10秒以上押し続ける。
 画面が切り替わります。

⑥ 決定スイッチを押す。

試運転を開始し、試運転が完了するとメロディ音が流れます。

試運転中に異常が発生した場合や試運転完了後の処置については、
 機器本体の施工説明書に従ってください。

例)RAC601F*の場合

